



HAKUOH

白鷗大学足利高等学校 令和5年9月30日発行



▲全国大会に出場した選手たち



▲入学式 校長式辞

関東大会に出場した水泳部▼



関東大会に出場した選手たち▼



令和5年

9/30

第67号

- 「スクール・ミッションと3つのスクール・ポリシー」 学校長 大橋 芳樹 2ページ
- 令和6年度入試要項 3ページ
- 関東大会 4~5ページ
- インターハイ・総文祭 6~7ページ
- 本校舎トピックス 8~9ページ
- 富田キャンパストピックス 9~10ページ
- 白鷗大学だより 11ページ
- PTAだより・一日体験学習・他 12ページ



スクール・ミッションと 3つのスクール・ポリシー



白鷗大学足利高等学校長 大橋 芳樹

<スクール・ミッションと3つのスクール・ポリシー>



白鷗大学足利高等学校の校長に就任して3年目となります。本年5月8日をもちまして新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置づけが「第2類」から「第5類」に変更となり、もちろん万全の感染対策をとった上ではありますが、学校行事等もようやくコロナ禍前とほぼ同様な状況で実施することができるようになりました。生徒たちの明るい笑顔も戻ってきて、校長としてはうれし限りです。

校長となった初年度に、校報63号の挨拶の中で「卒業までに生徒に身につけさせたい『8つの力』」をお示しました。この「8つの力」は、
①分析力 ②思考力 ③発信力
④想像力 ⑤創造力 ⑥行動力
⑦傾聴力 ⑧自己肯定力
の8つですが、その育成は容易なことではありません。何かよい方法はありますかと思いつくとき、たまたま受講した研修の中で、

「グリット (GRIT) …やり抜く力」という考え方に会いました。「グリット」はペンシルベニア大学のアンジェラ・リー・ダックワース教授が提唱したもので、世界的に企業や大学等の人材育成において注目されている考え方式です。「グリット (GRIT)」のGは「Guts (度胸)」、Rは「Resilience (復元力)」、Iは「Initiative (自発性)」、Tは「Tenacity (執念)」

の頭文字です。この「グリット (GRIT)」は日本語で「やり抜く力」と訳されているように、「グリット」の持ち主は多少の困難に遭遇しても、何事も最後まであきらめずにやり遂げる傾向が強いそうです。また、「グリット」は、「今より少し難しいことに挑戦する」、「成功体験を積み上げる」、「グリットを持つ人と行動を共にする」、「短期だけではなく長期目標を視野に入れる」などを経験させることで伸ばすことができるそうです。そこで、本校で行われている授業、学校行事、生徒会活動、部活動などあらゆる教育活動に生徒を主体的に関わらせ、生徒の持っている「グリット」の芽を育てることで、「卒業までに生徒に身につけさせたい『8つの力』」の育成につなげたいと思いました。この考え方を整理して本校独自に作成したものが、図に示した「スクール・ミッション」と3つのスクール・ポリシーです。「スクール・ミッション」と3つのスクール・ポリシーは文部科学省より各学校にその策定が指示されているものであり、今後の本校の教育活動の実践や学校経営における基本的な考え方となるものです。保護者の皆様のご理解、ご協力をよろしく願います。

入試相談会(中学3年生と保護者対象)

	本校舎会場	埼玉会場	白鷗大学会場
期日	10月14日(土) 11月3日(金) 11月11日(土) 11月23日(木) 12月3日(日)	〈市民プラザかぞ〉 9月21日(木) 11月29日(水)	〈白鷗大学大行寺キャンパス〉 10月28日(土)
時間	9:00~12:30	17:00~20:00	10:00~15:00

※本校の入試に関する質問に応じますので、ご都合の良い日時においでください。最終受付は終了30分前になります。事前のお申し込みは不要です。お問い合わせは各校舎に連絡するかEメールをお願いします。
e-mail : nyushi-h@hakuoh.ed.jp

本校では、新校舎の完成によりキャンパスが一体化されます。それに伴い、令和6年度より現在の普通科の4コースから、進路希望に合わせて学べる特別進学コースSクラス、特別進学コース、進学コース、総合進学コースの3コース+Sコースに再編されます。
また、入試も変更され、下記のように入試要項が決まりました。出願はすべてインターネットで行われます。詳細につきましては、本校のホームページ、または入試要項でご確認ください。
なお、今年度もオープンキャンパス、入試相談会を実施します。是非、ご参加ください。

令和6年度
入試要項決定

令和6年度入試要項

	試験別	コース	試験日	試験教科	出願期間	合格発表
第1回入試	併願	学業特待生	令和6年 1月5日(金)	国・社・数・理・英	令和5年 11月25日(土) ~12月5日(火)	令和6年 1月11日(木)
		一般 I		国・数・英		
	単願	特別進学コース	令和6年 1月6日(土)	国・社・数・理・英 面接		
		単願		国・数・英 面接		
		部活動特待生		国・数・英 面接・実技		
第2回入試	併願	ランクアップ	令和6年 1月28日(日)	国・数・英	令和6年 1月11日(木)~17日(水)	令和6年 2月1日(木)
		一般 II				

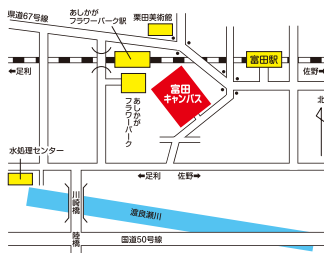
富田キャンパス オープンキャンパス

申し込み期間 定員になり次第、受付を終了させていただきます。
9月4日(月)~10月2日(月)

- 10月7日(土)
- 10月21日(土)

各回定員
170名

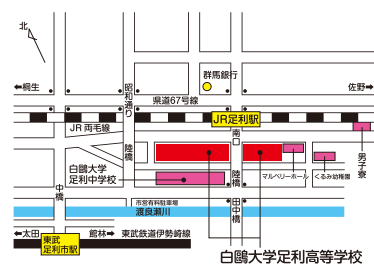
- ・9:30~ 受付
- ・9:55~ 学校説明
- ・10:50~ 授業見学
- ・11:35 終了



白鷗大学足利高等学校富田キャンパス

- JR富田駅より徒歩5分
- 富田キャンパスへは東武伊勢崎線足利市駅・館林駅・太田駅および尾島方面より登下校時にスクールバスを運行します。
- 古河・結城方面および佐野・栃木方面からは富田キャンパスと本校舎へ登下校時にスクールバスを運行します。

〒329-4214 栃木県足利市多田木町1067
TEL.0284-91-2633



白鷗大学足利高等学校本校舎

- JR両毛線 足利駅南口より徒歩1分
- 東武伊勢崎線 足利市駅より徒歩10分

〒326-0054 栃木県足利市伊勢南町3-2
TEL.0284-41-0890 (代)
HPアドレス_https://hakuoh-h.jp/

関東大会

インターハイへ向けて

8部135名が出場

女子ソフトテニス部

団体戦個人戦とも第3位入賞

6月2～5日、千葉県白子町サニーコート及びカネイコートにおいて、関東高校大会が行われました。

団体戦の初戦は埼玉平成高校（埼玉県）と対戦しました。1～1となりましたが、3番勝負を総3の5梶原理央さん（今市中）・文3の3渡邊知奈さん（今市中）ペアがファイナルゲームの接戦を勝ち切り、2～1で勝利しました。



団体戦第3位の女子ソフトテニス部

ベスト4をかけた昭和学院高校（埼玉県）との準々決勝戦では、総3の1日笠愛美さん（壬生中）・総2の3富山鈴香さん（杉戸広島中）ペアと、総3の4小林愛未さん（深谷花園中）・総3の1柳沼里彩さん（西郷一中）ペアとともに4～1で相手を下し、2～0で準決勝戦へと駒を進めました。

準決勝戦では、文大杉並高校（東京都）に敗れましたが、第3位入賞を果たしました。

本校から7ペアが出場した個人戦では、日笠さん・富山さんペアが第3位入賞を果たしました。日笠さんは2年連続となる第3位入賞でした。

応援ありがとうございました。

柔道部

悔しい敗戦を糧に！

柔道部は6月2～4日、茨城県水戸市の東日本技術研究所武道館で開催された関東大会に出場しました。

初戦の川口市立高校（埼玉県）に4～0、2回戦の日本大学高校（神奈川県）に2～1でそれぞれ勝利し、3回戦以降が行われる最終日に進出しました。

3回戦は修徳高校（東京都）に副将総2の4黒田佑斗さん（足利一中）の豪快な払腰一本で一矢報いましたが、1～4で悔しい敗戦となりました。この負けを受け止

【出場メンバー】

文3の3 横山 心さん（足利一中）
 総3の3 石塚 航太さん（足利一中）
 文2の1 吉村 颯太さん（上青木中）
 総2の1 栗田 颯太さん（平塚金目）
 総2の4 黒田 佑斗さん（足利一中）
 総1の3 五島 颯太さん（小山三中）
 総1の5 國分光太郎さん（足利一中）

め、8月に北海道で行われるインターハイに繋げていきます。応援ありがとうございました。



関東大会に出場した選手たち

ボクシング部

◆3年連続優勝、最優秀選手の鈴木さん
 ◆1年生ながら優勝、最優秀選手の小林さん

6月1～4日、令和5年度第65回関東高等学校ボクシング大会並びに第8回関東高等学校女子ボクシング大会が山梨県小瀬スポーツ公園武道館において開催されました。本校からは、男子ピン級で総1の1小林栄絢さん（鹿沼北中）、男子バンタム級で文2の1倉島将也さん（大平南中）、男子ライト級で文2の2藤元武蔵さん（吹上中）、男子ウェルター級で文2の1紀堅志朗さん（佐野南中）、女子ピン級で総3の4早川瑠愛さん（山辺中）、女子フライ級で総3の3鈴木美結さん（宮代百間中）

サッカー部

関東大会初出場

5月27～29日、東京都の各会場で開催された関東大会が行われました。サッカー競技は各県の第1代表8チームでのトーナメント戦と、第2代表8チームでのトーナメント戦があり、本校は栃木県第1代表として出場しました。1回戦は稲城長峰ヴェルデファイールドで、千葉県第1代表の八千代高校と対戦しました。優勝候補を相手に臆することなくプレーしましたが、相手ゴールを奪うことができず、0～



試合中の様子

3で敗れてしまいました。しかし、初出場ながら、その堂々としたプレーぶりからは、今後に繋がる大きな自信が感じられました。最後に、今大会へ出場するにあたり、応援・サポートしていただいた皆様に感謝を申し上げ、大会報告といたします。



最優秀選手賞受賞の小林さん(左)と鈴木さん

の6名が出場しました。

結果は、男子ピン級の小林さんが強豪相手に勝ち進み、全試合RSC勝ちで1年生ながら関東チャンピオンに輝き、男子最優秀選手賞を受賞。女子フライ級の鈴木さんは高いボクシング技術で他を寄せ付けずに勝ち進み、3年連続で関東チャンピオン、女子最優秀選手賞に輝きました。男女ともに最優秀選手賞を受賞し、本校選手の活躍が目立った大会となりました。ピン級の早川さんとウェル

ター級の紀さんは準決勝戦で惜しくも敗退し、第3位入賞となりました。倉島さん、藤元さんも敗戦の悔しさをバネに成長してくれることを期待します。



入賞した(左から)早川さん、鈴木さん、小林さん、紀さん

陸上競技部

2種目で優勝

6月16～19日、山梨県甲府市JITリサイクルインクスタジアムにおいて、関東高校総体が開催され、本校からは男子17名、女子16名が参加しました。

女子は総3の4二宮音彩さん（栃木西中）が1000mで優勝、総2の2谷飛香里さん（佐野西中）



100m優勝の三宮さん



やり投げ優勝の谷さん

がやり投げで優勝、文2の3高橋玲緒さん（清原中）が七種競技で第3位。男子は1500mで文3の1荻野桂輔さん（三和中）が第2位、総2の3石川湧史さん（大平南中）が第4位、4×400mリレーで第4位という成績を残すことができました。

この結果、11名の選手が北海道で行われるインターハイに出場を決めることができました。

インターハイでも良い結果が残せるように頑張っていきたいと思えます。応援ありがとうございます。

した。



出場した選手たち

体操部

男子団体と女子個人で出場

6月2～4日、神奈川県立スポーツセンター体育館において関東大会が開催され、男子団体と女子個人に総3の1島田実果さん（毛里田中）、総2の4松本心美さん（大平南中）が出場しました。コロナが5類に移行したこともあり、声出し応援が解禁され、活気溢れる大会となりました。緊張



関東大会に出場した選手たち

感の中、選手達は平常心を保ち、日頃の練習の成果を十分に発揮した演技をすることができました。一方で、細かいミスが響いて思うような点数が取れず、悔しい思いをした選手もいました。

今後も向上心を持ち、さらに高度な技に挑戦していくとともに、安定感のある演技を目指して日々鍛錬を怠らず、部員一同精進していきたいと思えます。

【男子団体出場メンバー】

進3の3 齋藤 央輝さん（太田南中）
文2の2 齋藤 拓斗さん（富田中）
文2の1 平塚 蒼羅さん（館林三中）

男子ソフトボール部

初戦敗退

6月3・4日、神奈川県立酒匂川スポーツ広場にて、第49回関東高等学校ソフトボール大会が開催されました。試合前日に記録的な大雨に見舞われ、試合は一日延期となりました。

1回戦の相手は地元神奈川県代表の相洋高等学校でした。初回、1点を先制する幸先の良いスタートを切りました。その後、進3の5の袴田龍之介さん（太田城西中）が好投するも、3点返されました。その後も失点を重ね、四回終了時点で1ー10。五回表に相手のミスに乗じて4点返すも、5ー12でコールド負けとなりました。この反省を生かし、8月のイン

ターハイで良い結果を残せるように練習に励みます。応援ありがとうございました。



試合前の様子

水泳部

一泳入魂

7月21～23日、東京アクアティクスセンターにて、第74回関東高等学校選手権水泳競技大会が開催されました。結果は以下の通りです。

【入賞およびインターハイ出場権獲得】
1000m背泳ぎ第8位
総3の2 尾崎 元希さん（足利北中）
400m自由形第5位
総1の3 福田 円さん（晃陽中）
男子4×100mメドレーリレー第10位
総3の2 尾崎 元希さん（足利北中）
文3の3 本郷 辰さん（境野中）
文3の1 瀧澤 悠太さん（国分寺中）
文3の1 黒須 大幹さん（毛野中）
男子4×100mリレー第10位
文3の1 黒須 大幹さん（毛野中）
文3の1 黒須 大幹さん（毛野中）
文3の1 黒須 大幹さん（毛野中）
文2の1 川村 健太さん（あそ野中）
文3の3 溝口 新大さん（佐野北中）
総3の5 福田 奈央さん（晃陽中）
女子4×100mリレー第10位
総1の3 福田 円さん（晃陽中）
文3の2 小嶋 里菜さん（協和中）

総3の1 浦野菜々香さん（足利三中）
文3の1 武藤和香奈さん（足利西中）
女子4×200mリレー第7位
総1の3 福田 円さん（晃陽中）
文3の2 小嶋 里菜さん（協和中）
総3の1 浦野菜々香さん（足利三中）
総3の1 村上 碧さん（小山城南中）
【標準記録を突破しインターハイ出場権獲得】
1000mバタフライ
文3の1 瀧澤 悠太さん（国分寺中）
200m背泳ぎ
総3の2 尾崎 元希さん（足利北中）
500m自由形
文3の2 小嶋 里菜さん（協和中）
200m背泳ぎ
文3の1 武藤和香奈さん（足利西中）
男子4×200mリレー
総2の5 飯塚 峻樹さん（東陽中）
文2の1 川村 健太さん（あそ野中）
文3の3 溝口 新大さん（佐野北中）
総3の5 福田 奈央さん（晃陽中）
女子4×100mメドレーリレー
文3の1 武藤和香奈さん（足利西中）
総1の3 福田 円さん（晃陽中）
文3の2 小嶋 里菜さん（協和中）
総3の1 浦野菜々香さん（足利三中）

インターハイでは、悔いのないレースができるよう、精一杯頑張ります。



関東大会に出場した水泳部

飛び立て若き翼

北海道総体2023

女子ソフトテニス部 団体戦で第5位入賞

7月26～29日、北海道苫小牧市緑ヶ丘公園庭球場でインターハイが開催され、団体戦と個人戦に出場しました。

個人戦は出場した4ペア全てが初日で敗退してしまいました。

団体戦では、初戦の2回戦で名護高校（沖縄県）に3-0で、3回戦で能登高校（石川県）に2-0でそれぞれ勝利しました。準々決勝戦は、広島翔洋高校（広島県）に対しベースをつかむことができず、0-2で敗れました。全国選抜大会の第3位には一歩及びませんでした。堂々の第5位入賞を果たしました。



団体戦第5位の女子ソフトテニス部

「団体戦・個人戦出場メンバー」

- 総3の1 日笠 愛美さん（壬生中）
- 総2の3 富山 鈴香さん（杉戸広島中）
- 総3の5 梶原 理央さん（今市中）
- 文3の3 渡邉 知奈さん（今市中）
- 総3の4 小林 愛未さん（深谷花園中）
- 総3の1 柳沼 里彩さん（西郷一中）
- 総2の3 真船 姫来さん（西郷一中）
- 総3の3 松本 千瀬さん（国分寺中）

ハイスクールジャパンカップ

シングルス第3位ダブルス第5位

6月14～18日、北海道苫小牧市緑ヶ丘公園庭球場でハイスクールジャパンカップが開催されました。栃木県代表として、本校から総3の1日笠愛美さん（壬生中）と総2の3富山鈴香さん（杉戸広島中）が出場しました。



シングルスで第3位に入賞した日笠さん

シングルスに出場した日笠さんは、巧みなショットを武器に準決勝戦まで勝ち上がりました。準決勝戦では優勝した選手に惜しくも敗退しましたが、堂々の第3位入賞となりました。ダブルスに出場した日笠さん・富山さんペアは準々決勝戦で、優勝したペアに3-1リードから逆転負けを喫しましたが、第5位に入賞しました。

日笠さんは、2年連続となる第5位入賞でした。

水泳部 一泳入魂

8月17～20日、北海道野幌総合運動公園にて、令和5年度全国高等学校総合体育大会水泳競技大会第91回日本高等学校選手権水泳競技大会が開催され、本校からは13名が出場しました。



インターハイに出場した選手たち

悔いのないレースができるように、チームがひとつとなって練習を重ねてきました。残念ながら決勝に進出はなりませんでしたが、3年生主体のチームで最後まで諦めずに戦うことができ、次につながる経験になったと思います。後輩たちにはこの悔いの経験を生かし、来年は今年以上の頑張りを見せてくれると期待しています。そのため、今以上にチームがひとつになって、切磋琢磨しながら頑張っていきたいと思えます。保護者の皆様をはじめ、たくさん応援をいただきましたありがとうございます。

ボクシング部 次戦での勝利を誓う！

7月29日～8月4日、北ガスアリーナ札幌46で令和5年度全国高等学校総合体育大会ボクシング競技大会が開催され、本校からは男子ピン級で総1の1小林栄樹さん（鹿沼北中）と、男子ライト級で文2の2藤元武蔵さん（吹上中）の2名が出場しました。

小林さんは初戦を勝利で飾りましたが、2回戦で惜しくも判定負け。5人のジャッジ中2人がフルマークで小林さんの勝ちを支持していたこともあり、悔しさが残る内容でした。藤元さんも初戦で勝



インターハイに出場した藤元さん(左)と小林さん

優勝を目指してチーム一丸となって頑張りますので、応援よろしくお願いします。

柔道部 2名がベスト16

8月9～11日、北海道札幌市北海きたえーるで柔道競技のインターハイが行われ、男子個人戦3階級に出場しました。

男子60kg級に出場した総2の1宇野愛輝さん（国立二中）は、初戦を延長戦で勝利し、2回戦も延長戦にもつれる接戦となり、一瞬の



インターハイに出場した(左から)宇野さん、中田さん、黒田さん

スキを見逃さず裏技ありで勝利しました。3回戦は優勝候補にも挙げられる選手に健闘しましたが、力及ばず寝技で敗れ、ベスト16という結果でした。100kg超級に出場した総2の4黒田佑斗さん（足利一中）は2回戦を払腰一本で勝利しましたが、3回戦で自分の柔道ができずに敗れ、ベスト16。81kg級に出場した総2の3中田涼太さん（足利一中）も、緊張の中うまく攻めることができずに2回戦敗退となりました。3人ともに2年生なので、この経験を秋以降に生かし、さらに飛躍していきたいと思えます。応援ありがとうございます。

陸上競技部
男子長距離が活躍！萩野さんが決勝進出！

8月1～6日、北海道札幌市厚別陸上競技場において全国高校総体陸上競技大会が行われました。本校からは男子8名、女子3名の計11名が出場しました。

なかでも男子1500mに出場した文理3の1萩野桂輔さん（三和中）が見事決勝に進出し、決勝では第11位の成績を残すことができました。男子長距離としては、久しぶりの決勝進出でした。今後の活躍にも期待したいと思います。



力走する萩野さん(中央奥)

また今回、他の種目に出場した選手には2年生が多くいましたが、うまく力を出し切れず悔しい思いをしました。この経験を生かせるように、来年も必ずインターハイに出場し、日本一を目指して頑張っていきたいと思えます。応援ありがとうございます。

剣道部
7年ぶりの2人目の女子個人戦出場

8月3～6日、北海道帯広市および葉アリーナ十勝で第70回全国高等学校剣道大会が開催され、女子個人戦に文3の1山口珠侑さん（足利二中）が出場しました。

6月に開催された栃木県予選会では団体戦での敗戦の悔しさをバネにして、自分の剣道を最後まで貫き通して戦った結果、本戦への切符をつかむことができました。本戦では初めての全国大会に緊張しながらも、真向勝負を展開しました。結果は初戦敗退でしたが、最後まで諦めずに自分の剣道を信じて戦う姿は非常に誇らしく、成長を感じることができました。関係者の皆様にはご指導・ご支援をいただき、ありがとうございます。



インターハイに出場した山口さん(左から2人目)

男子ソフトボール部
初戦突破！2回戦も健闘！

8月5～8日、北海道石狩市のままなす国体記念石狩市スポーツ

広場で、全日本高等学校男子ソフトボール選手権大会が行われ、2年ぶりの出場を果たしました。

初戦の相手は鳥取県代表米子松陰高等学校でした。初回、進2の2前田一成さん（足利北中）の先頭打者ホームランから始まり、投手の進3の5袴田龍之介さん（太田城西中）のホームラン、主将の進3の1會田洋平さん（太田城西

バトントワリング部
2023かじま総文

第47回全国高等学校総合文化祭（2023かじま総文）にバトントワリング部3名が出場しました。7月29日のパレード部門では、「かじま文化ゾーン」をバトンとポンポンの演技をしながら笑顔で楽しく歩き、大会の幕開けを華やかに飾りました。沿道の方々も笑顔でたくさん拍手をしてくださり、とても嬉しかったです。



全国総合文化祭に出場したバトントワリング部メンバー

31日のバトントワリング部門は、

中）の三塁打などを含む猛攻で、14-6の5回コールドで勝利しました。2回戦は和歌山県の伝統校、県立箕島高等学校と対戦しました。最終リードを許す展開ではありましたが、互いの力が拮抗した好ゲームでした。残念ながら敗退となりましたが、来年につながる戦いができたと思います。応援ありがとうございました。

第47回全国高等学校総合文化祭鹿兒島大会

西原商会アリーナで開催されました。今年は、「SO BLUE」の曲で力強くも華麗な演技を披露しました。県内4校合同29名で、3月から合同練習や合宿を経て、演技を合わせてきました。合同での苦労もたくさんありましたが、話し合いを重ね一つひとつ乗り越えることで、本番では学校の壁を越えて一体感を感じながら演技をし、大きな達成感を味わうことができました。

囲碁・将棋部
丸山さんが栃木県の団体戦メンバーとして出場

8月1・2日、鹿兒島県指宿市で第47回全国高等学校総合文化祭囲碁部門が開催されました。本校



三塁打を放った會田さん



団体戦に臨む丸山さん

団体戦は、3人一組でチームを組み、2日間で6局対戦を行います。丸山さんは宇都宮高校1年生の選手と、作新学院高校2年生の選手とともに試合に臨みました。1回戦で鳥根、2回戦で鹿兒島、3回戦で大分、4回戦で大阪、5回戦で静岡、6回戦で秋田の代表と対局し、最終成績が4勝2敗、48団体中12位でした。昨年の22位からの大躍進で、栃木県勢としても過去最高の順位となりました。丸山さんはこの大会で引退となりますが、1、2年生の部員たちにも、ぜひこの功績を引き継いでほしいと思います。

本校舎トピックス

新入生歓迎球技大会

5月25日、スポーツ日和の中、新入生歓迎球技大会が開催されました。今年は渡良瀬運動場でフットベースボールを、体育館・マリ



フットベースボールの様子

ームを組み、戦略を立てて臨みました。どちらの競技においても、決勝戦まで手に汗を握る大激戦となりました。

ソフトバレーボールの決勝戦では、総2の2が0-1とされるも逆転勝ちを収め優勝しました。

フットベースボール混合の決勝戦では、総2の5が前半リードし、追いつかれそうになるもリードを守って優勝しました。

<令和5年度> 新入生歓迎球技大会結果

◆フットベースボール(混合)

- 優勝 総合進学コース2年5組
- 2位 総合進学コース3年2組
- 3位 文理進学コース3年3組-A
- 3位 総合進学コース2年1組

◆フットベースボール(男子)

- 優勝 総合進学コース3年1組
- 2位 総合進学コース1年5組

◆ソフトバレーボール

- 優勝 総合進学コース2年2組-B
- 2位 総合進学コース3年2組-A
- 3位 総合進学コース3年5組-A
- 3位 総合進学コース2年1組-B



ソフトバレーボールのワンシーン

フットベースボール男子の決勝戦では、総3の1が終始相手を圧倒し、見事優勝しました。

結果的に3部門中、2部門で2年生チームが3年生チームを破る大金星をあげました。

新年度になって、クラス全員で協力して取り組んだ初めての学校行事となりました。球技大会を通してクラスの仲が深まったのではないかと思います。今回の行事が生徒の良い思い出になってくれれば幸いです。各競技の試合結果は表の通りです。

3学年

面接ガイダンス

7月3日、第3学年を対象に進路ガイダンスが実施されました。進学希望者は、Teamsで進



面接練習の様子

学面接指導講演会を視聴しました。その後、株式会社さんぼうの講師による系統分野別分科会に参加しました。

就職希望者は、前半に面接基礎指導、後半に面接指導および企業見学事前指導を受講しました。

クリケット女子日本代表強化選手に選出

総2の4柿沼郁帆さん(佐野南中)がクリケットの女子日本代表強化選手団に選出されました。クリケットは11人で1チームを構成し、攻撃と守備を1イニングずつ交互に行い、総得点の多い方が勝ちとなる競技で、野球の原型ともいわれています。日本代表強化選手団は男女とも20名前後で構成さ

進路決定に向けて、一人ひとりが自分の進路希望に合ったガイダンスを受講し、真剣に取り組む様子が見られ、生徒にとって実りのあるガイダンスとなりました。

2学年

応急手当講習会

6月13日、本校舎(体育館)・14日、富田校舎(シーガルホール)において、2学年を対象に応急手当講習会を実施しました。足利市中央消防署と足利市東消



熱心に聞いている生徒たち

防署の方々にご協力をいただき、動画や実演を交えながらの講演となりました。

本講習会は、心肺蘇生法における手順(右図)やAED操作方法を学び、事故や急病で命の危険にさらされている状況に遭遇しても、自ら行動できる資質や能力を養うことを目的に実施されました。また、夏本番を目前に、熱中症の対策なども学びました。どの生徒もメモを取りながら熱心に聞いており、大変有意義な講習会となりました。

心肺蘇生法手順

- ・反応の確認「大丈夫ですか!」
- ・119番通報とAEDの依頼
- ・呼吸の確認(10秒以上かけない)
 - ・普段通りの呼吸なし
- ・胸骨圧迫「強く・早く・絶え間なく」
- ・AEDが到着したら電源を入れて音声ガイドに従いましょう!
- ・勇気を持って行動しよう!



れていて、4ヶ月3月の1年間を通して、強化合宿、強化試合、各種研修会、海外派遣などの強化・育成活動を実施します。柿沼さんは小学校1年生からクリケットをはじめ、今回が初の日本代表強化選手選出となりました。



日本代表強化選手団に選出された柿沼さん

柿沼さんは「とても厳しい世界ですが、やりがいがあります。将来は日本を引っ張っていきけるような選手になりたいです」と、抱負を語りました。今後の活躍が期待されます。

▲▲▲1学年 基礎探究講座 ▼▼▼

6月23日、本校舎の第1学年を対象に、Teamsを利用した基礎探究講座が行われました。

白鷗大学から教育学部准教授の小川博士先生をお招きし、「その気になればできること」から考えるSDGsと、探究の「問い」の作り方を中心に、二部構成でのワークショップを通して、探究活動の進め方を学びました。

一部では「その気になればできること」として、環境を守るために重要なもののような行動であるかを9つの中から重要度で順位付けをしました。その後、各グループで意見を持ち寄り、話し合いによってグループごとの順位付けをして、ダイヤモンド・ランキ



真剣な眼差し生徒たち



ワークショップの様子

ングを作成しました。このアクティビティから合意形成と価値観や、観点の多様性について学びました。そして、多様性を認め、お互いの意見を尊重することが、SDGsにおける取り組みの大前提であることを学びました。

二部では、リサーチクエスチョンの立て方について学びました。探究とは「問い」に対して結論を探究する知的な営みのことであり、探究を具体的に進めるための問いはどのようなものが良いかについて説明していただきました。実際に例をみながら、新たに引き出される問いを書き出していました。生徒たちには、今後の探究活動の「問い」の立て方の参考にしてほしいと思います。

富田キャンパストピックス

新入生歓迎球技大会

5月25日、富田校舎で新入生歓迎球技大会を実施しました。本年度は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行したため、コロナ禍前の球技大会同様に実施することができました。今年度の球技大会では、事前に生徒会役員によるアンケートを全生徒に実施し、競技を決めました。実施競技はサッカー・バレーボール・ドッジボール・バドミントン・モルックの5種目です。

試合の結果は、2・3年生が実力を発揮し多くの種目で入賞するなか、1年生も2種目で優勝を果たし大健闘しました。どの競技も白熱した試合が繰り広げられ、懸命にクラスを応援する生徒たちの



モルックの様子

生き生きとした表情がとても印象的でした。富田校舎最後の新入生歓迎球技大会として、生徒たちの思い出に残るものとなりました。



バドミントンの様子

1学年 HSS 科学体験講座

6月8日、シーガルホールにて富田校舎の1年生を対象に、群馬大学大学院理工学府教授である板橋英之先生による特別講演が行われました。普段知ることができない大学での研究内容について、生徒たちは熱心に講演を聞いていました。

今回の講演は、木材を腐らせないようにコンクリートを混ぜることとで二酸化炭素を固定するウッドチップブロックの開発や、安価で肌に優しい入浴剤の開発といった群馬大学での研究内容や、そこから派生したベンチャー企業の活動についてお話をうかがいました。どれも私たちの暮らしを豊かにする技術を紹介する内容でした。この講演会で、様々な事柄にチャレ



講演する板橋教授

ンジすることの意義を感じることができました。講演後には、たくさんの方から質問が飛び出しました。生徒にとって、最先端の科学で研究を行うことの楽しさに触れる有意義な時間になりました。

<令和5年度> 新入生歓迎球技大会結果

競技	優勝	準優勝	第3位	
サッカー	進学コース 1年3組	進学コース 3年1・2組	進学コース 1年2組	進学コース 3年5組
バレーボール	特別進学コース 1年1組	進学コース 2年4組	進学コース 1年3組	特別進学コース 3年2組
ドッジボール	進学コース 3年6組	進学コース 2年4組	進学コース 2年2組	進学コース 2年3組
バドミントン	進学コース 2年4組	進学コース 3年6組	進学コース 2年3組	進学コース 3年2組
モルック	進学コース 2年2組	進学コース 3年6組	特別進学コース 1年1組	進学コース 1年3組

1学年 性教育講演会

7月13日、本校舎、富田校舎において1年生を対象とした「性教育講演会」を行いました。

思春期における性的関心の高まりとともに、誤った情報や性的衝動からの軽率な行動によって、妊娠や性感染症などの重大な問題を起こすことがあります。

そこで今年度も医療法人社団浅岡医院院長浅岡健太郎先生をお招きし、パワーポイントでわかりやすく講演していただきました。

また、HPVワクチンについてのリーフレットを生徒たちに配布していただき説明を受けました。生徒たちはメモを取りながら熱心に話を聞き、「性に関して知らなかった知識を知ることができた。自分の心や体、相手を大切にしたい」など様々な感想を抱いたようです。

1学年 レクチャーコンサート

6月22日、富田校舎の1年生を対象にしたレクチャーコンサートが、シーガルホールにて開催されました。講師には、多岐に渡って活躍されているピアニストの田中あかね先生をお招きしました。コンサートではメンデルスゾーンとシューマンについて、田中先



レクチャーコンサートの様子

生が興味深いお話をしてくださり、その話に合わせて、多くの曲を演奏してくださりました。

日頃はクラシックに馴染みのない生徒たちもプロの演奏に接し、その素晴らしさに感嘆の声をあげていました。また、曲の合間のお話も初めて聞くものばかりで、生徒たちは皆、真剣に耳を傾けていました。この貴重な体験は、生徒たちにとって大変有意義なものになったと思います。

部活動・同好会 トピックス

茶道部

富田校舎の茶道部は外部顧問の先生のご指導の下、現在19名で活動しています。茶道部では年に一度生徒や先生方をお客様に招き、「お茶会」を開催しています。この会は3年生最後のお点前発表も

兼ねており、今年度は7月7日に富田校舎「巨日の間」で行いました。ここ2年間はコロナ禍のため制限が多くありましたが、久しぶりに多くの方に参加していただくことができました。

この日のために3年生が中心となって、浴衣の着付けやお茶の点て方、お点前の作法の確認など、時間をかけて練習してきました。お客様からは「美味しかった」「作法がきれいだった」などの言葉をいただき、練習の成果が発揮できた良い経験になりました。



お点前の様子

合唱部

合唱部3年生の引退コンサートが7月11日に富田校舎のシーガルホールにて開催されました。

現在、合唱部は増岡先生のご指導の下、3年生7名、2年生7名、1年生3名の計17名で活動していますが、今回が全員でコンサートを行う最後の機会なので、部員一同一層奮起して練習に励みました。外部講師として三線奏者の石井道

康氏をお招きし、歌唱や表現などについても、熱心にご指導して



コンサートの様子

ダンス同好会

7月14日、富田校舎のダンス同好会の発表会が富田校舎シーガルホールで行われました。

ダンス同好会を指導して下さる外部講師AI先生の振付によるオープニング曲から始まり、K-POP 11曲、最後にAI先生と3



ダンス部の生徒たち

ただきました。

3年生が中心となってソロパートを担当し、それぞれが自分なりの表現を模索しながら立派に演奏を披露することができました。また、3年間の集大成として、3年生のみでの合唱を披露し、有終の美を飾りました。

先輩方から代々受け継がれてきた情熱と伝統を大切にしながら、自分たちにしかできない表現を身に付けるために、今後も活動を続けていきます。



外部講師のAI先生を囲んで

8月のステージで3年生が引退となり、1、2年生は「白鷗大学ダンス発表会」に向け練習を開始する予定です。今後のダンス同好会の活動にご期待ください。

白鷗大学だより

PLUS ULTRA — さらに向こうへ

★★硬式野球部が初の全国4強★★

硬式野球部が第72回全日本大学野球選手権大会において、創部以来初となる全国4強入りを果たしました。

全国大会出場をかけた関甲新リーグの最終戦では、全勝で並ぶ上武大学と対戦。福島圭音選手（経営学部4年）の初回本塁打が決勝点となり、2-10で競り勝ち、2019年秋季以来6季ぶりに優勝。5年ぶり5回目の神宮への切符を手に入れました。

6月6日。全国大会の初戦、環太平洋大学との2回戦は、先発した松永大輝選手（経営学部2年）が4安打無死球の好投で完封。8回に浅野空我選手（経営学部4年）が本塁打を打ち、投手戦を制しました。続く8日、鹿屋体育大学との準々決勝では、四回に千葉蓮選手（経営学部4年）の本塁打で先制。六回には佐々木駿介選手（経営学部4年）らのヒットで一挙3点を追加。投げては、山田伶卓選手（経営学部4年）と松永選手（経営学部4年）の2枚看板が継投で追撃をかわして、逃げ切りました。

迎えた10日の準決勝では、過去6回優勝の強豪・明治大学に対し、終盤の8回まで2点差の接戦。0-16で完封負けを喫し決勝進出はなりませんでしたが、藤田慎二監督は「選手たちは新しい扉を開い

てくれました。全国の大学で4強は大きな財産。この悔しさとともに次につなげたい」と秋のリベンジを誓いました。



主将の千葉選手

就職率 昨年度を上回る 99・6%

公務員138人
公立学校教員219人合格

2022年度卒業生の就職率は、99・6%（前年比0・8ポイント上昇）でした。1年次から職業観を養うサポートがあり、早い段階から進路計画を立てることで、多くの学生が志願する業種や企業への就職を果たしています。

進路支援は、進路支援課・就職支援室・公務員支援室・資格支援課で構成されるキャリアサポートセンターが担当しています。学生が、自身の適性と将来計画を考えた目的意識を持った就職活動を主体的に行えるよう、ガイダンスやビジネスマナーなどの各種講座、キ

ャリアコンサルタント有資格者や企業の採用経験者の教職員による本番さながらの模擬面接など、さまざまな支援を行っています。

公務員や教員志願者に対する支援も充実。官公庁の採用担当者が講師となる「公務員業務説明会」、地域の小中学校で児童や生徒の学習活動や部活動等の支援をし、教育実習前から教育現場の経験を積むことができる「スクールサポート」も学生から好評です。

公務員試験では、栃木県庁などの県市町村職員のほか公立保育士、警察官、消防官、自衛官にも多数合格。さらに国家一般職に5人、国税専門官に3人、労働基準監督官に2人、法務省専門職員（人間科学）に1人合格を果たしました。

■公務員採用試験現役合格者の推移

種別	2020年度	2021年度	2022年度
行政職			
国家公務員	5人	4人	11人
県庁職員	4人	6人	11人
市町村職員	30人	28人	57人
公安職			
自衛官	4人	8人	7人
警察官	25人	32人	35人
消防官	5人	12人	10人
資格職			
公立保育士(含む)	8人	15人	7人
合計	81人	105人	138人

■小中高教員採用試験合格者数の推移

年度	2020年度		2021年度		2022年度	
	新卒	既卒	新卒	既卒	新卒	既卒
小学校	112人	83人	118人	61人	117人	63人
中学校	7人	17人	13人	21人	16人	15人
高等学校	0人	6人	0人	2人	1人	0人
特別支援学校	1人	6人	2人	10人	1人	6人
小計	120人	112人	133人	94人	135人	84人
合計	232人		227人		219人	

新たに「昼食無料サービス」をスタート!

新年度を迎える学生の生活のサポートと、最近の記録的な物価高騰に対応した学生への経済的支援を目的として、今年度初めて「昼食無料サービス」を実施しました。



昼食を楽しむ学生

本学では1999年から、学生に活動的・意欲的に一日を過ごしてもらえよう「朝食無料サービス」を行っており、規則正しい生活を送れるようサポートを続けてきました。

2020年以降のコロナ禍においては中止していましたが、2022年に再開。栄養バランスも考慮されたメニューで、多くの学生に利用されています。

さらに、今年度はより多くの学生を経済的に支援するため、本キャンパスおよび大行寺キャンパスにおいて、4月に昼食を無料で提供しました。また、定期試験前の7月下旬にも同様のサービスを実施。メニューに定食やうどん・そばの選択肢が加わり、好みの料理を選んだ学生たちは笑顔を見せていました。

PTAだより

PTA活動の再開に感謝

PTA会長 石井 薫



PTA会員の皆様、日頃のPTA活動に多大なるご協力を賜り心より厚く御礼申し上げます。コロナ禍の余波を感じつつも、今までの日常生活が戻ってきていること実感できる日々ではないでしょうか。

4月7日に入学式が行われ、新入生をお迎えできたことと、4年ぶりのPTA入会式の開催で会員の皆様に直接お会いできたことが、なによりの喜びとなっております。5月には4年ぶりにPTA総会を開催することができました。大勢の会員の皆様が出席され、保護者様の学校への関心、教育への関心の高さを表す活動のひとつとなりましたと思います。また、PTA活動の中で最も大

一日体験学習

8月5・6日の2日間にわたり、本校舎・富田キャンパスで一日体験学習が開催されました。

本校舎1326名、富田キャンパス764名の中学生と保護者が来校しました。

現在建設されている新校舎に、令和6年度から富田キャンパスが移転し、キャンパスが一体化されます。そのため、来年度からは、コースも現在の4コース体制から特別進学コースSクラス、特別進学コース、進学コース、総合進学コースの3コース+Sクラスに再



全体説明の様子

本校舎では、新しい進学コースと総合進学コースの受験を希望する中学3年生を対象に募集をしました。全体説明に続いて、進学コ

本校舎

編されます。

富田キャンパス

1ス、総合進学コース対象の15の模擬授業が開講され、参加した中学生は熱心に受講していました。

令和6年度から、富田キャンパスは現在建設中の新校舎に移転するため、コースが再編されます。

そのため、本年度の富田キャンパスの一日体験学習は、特別進学コースの受験を希望する中学3年生を対象に募集されました。教育内容の説明や開講された授業も、新しい特別進学コースに対応した内容となりました。

参加した中学生は、熱心にそれぞれの講座を受けていました。来



授業の様子

校された中学生や保護者からは、高校生活や本校に対する期待が感じられ、先生方も気の引き締まる思いでした。

献血



6月13日に富田校舎、7月11日に本校舎で2、3年生を対象に献血が実施されました。

献血希望者の募集の際には、栃



献血キャラクター「チッチ」

木県赤十字血液センターから献血キャラクターの「チッチ」も駆けつけ、PRしてくれました。今回の献血では、生徒と教職員合わせて富田校舎62名、本校舎100名が協力してくれました。2年生は初めて献血する生徒が大多数で、献血前は緊張している様子が見られました。

編集後記

3年生は慣れてきている生徒も多く、初めての献血で心配している生徒に「大丈夫だよ」と優しく声をかけていました。本校舎では12月12日に2回目の献血が実施されます。多くの生徒のご協力をお待ちしております。

自然災害史上最悪となる10万5000人を超える死者・行方不明者を出した関東大震災の発生から、2023年9月1日で100年となりました。災害に対する心構え等を育成するための「防災の日」が9月1日に制定されているのは、この関東大震災に由来しています。関東大震災からの100年間にも地震などの自然現象により、各地で甚大な被害が発生しています。世の中は様々な面で技術が進化、発展を遂げていますが、地震、台風などの発生をなくすことはできません。しかし、それらに備えることで、被害を未然に防いだり、最小限に抑えたりすることが可能です。心構えをして備えることが大切だという震災からのメッセージを生かしていきたいものです。

※ お忙しい中、原稿・写真等の協力ありがとうございました。
編集・校報委員会
発行：白鷗大学足利高等学校
足利市伊勢南町3の2
0284-410890
発行日：令和5年9月30日